

守口市役所 旧本庁舎解体工事

アスベスト含有建材 除去計画

外装仕上塗材
(ALCパネル)

アスベスト含有塗料とは

アスベストの性能を利用して、建築用の仕上げ塗料の材料としても使われてきた経緯があります。

- ・塗料にアスベストを加えることで、塗った際の液ダレ防止や、塗膜のひび割れ防止が期待できたことから過去に多くのアスベスト含有塗料製品が作られました。

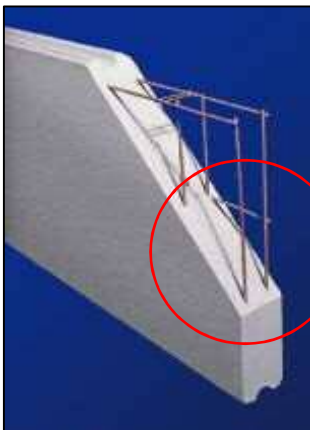
ALCパネルとは

ALCとは？高温高圧で蒸気養生された軽量気泡コンクリートの事です。

コンクリートと聞くと重いイメージがあると思いますが、ALCの場合、高温高圧で蒸気養生され、内部は気泡が空いている状態です。

その為、コンクリートと比べると軽量で1/4程の重さです。

また、この気泡が空いていることで、夏は涼しく、冬も一定の温度を保てるなど断熱効果が期待できます。

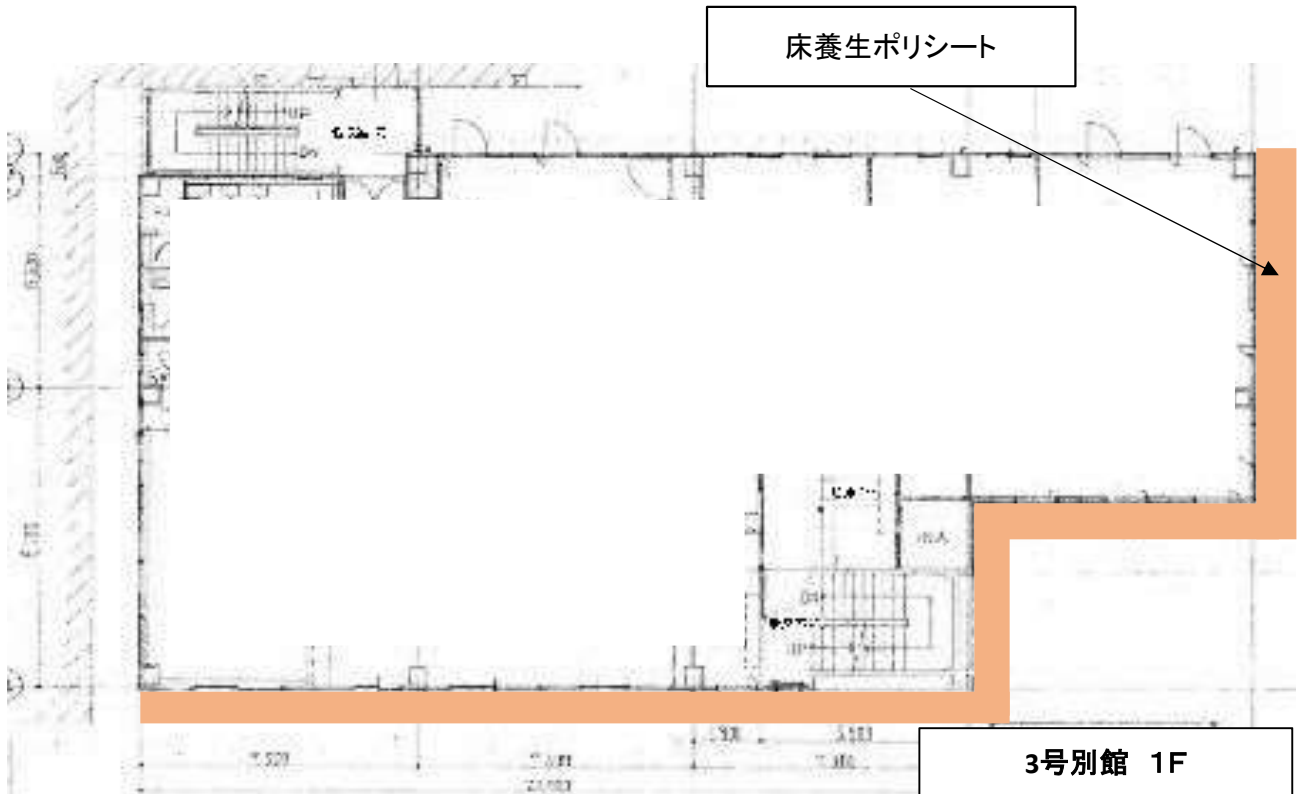


ALCは軽く断熱性能に優れていますが、衝撃には弱くもろいデメリットがあります。

ウォータージェット等で塗料の除去を行うとALCパネルごと突き抜けてしまう為
ALCパネルごと撤去を行います。

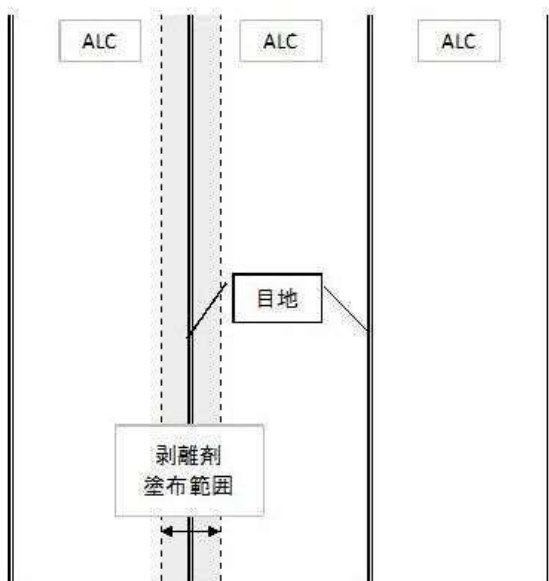
除去方法

- ① 目地部分の塗布箇所下部の飛散養生をホリシートで行います。
- ② ALC版目地部分に、剥離剤を塗布します。
- ③ 目地部分の塗膜をスクレーパー等で除去します。(※24時間浸透後)
- ④ ALCに固化剤散布
- ⑤ 塗布箇所下部の飛散養生を撤去、袋詰めします。
- ⑥ ALC版固定金具を切断します。
- ⑦ ALC版をバール等で横にずらし、ナイロンスリングをALCに巻き付け玉掛けを行います。
- ⑧ 足場上部に取付けた、ベビーホストでALC版を吊り外します。
- ⑨ ベビーホストで1階まで吊り下ろします。
- ⑩ 1階部分でALC版を2重梱包して、Lv3用産廃コンテナに廃棄します。
- ⑪ 撤去後ALCは発塵性が非常に少ない為Lv3の建材として埋め立て処分を行う

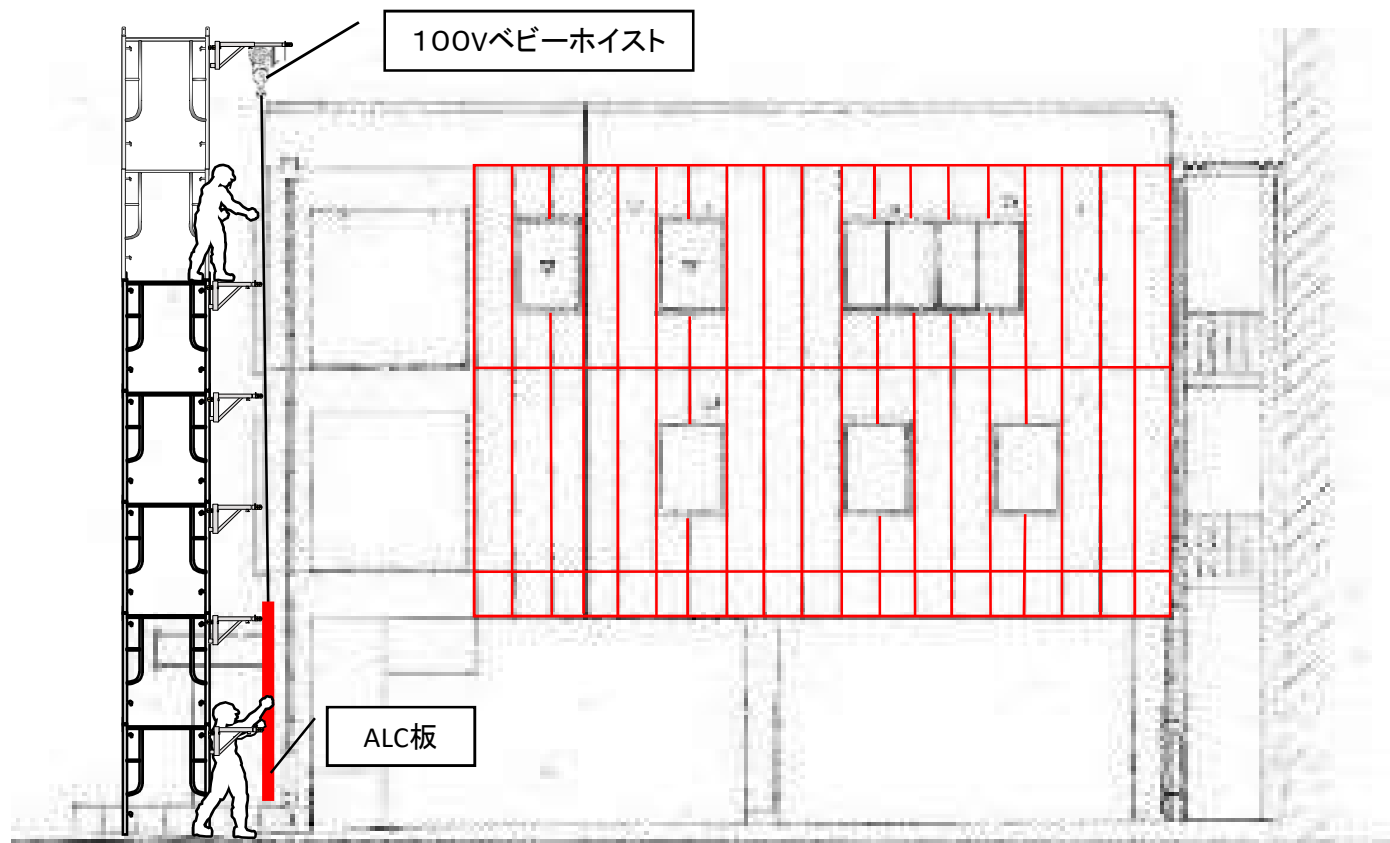


外壁における目地（ALCのつなぎ目）は吹付け石綿施工されているため接続目地部分を剥離剤併用手工具ケレン工法にて除去し、パネルを割らないように手ばらしを原則に撤去し、フレコンパック梱包にて廃棄物処理する。

剥離剤塗布は目地のセンターから左右に各2.5cmの幅5cmを行い、養生は床養生シートを敷き、保護具着用し作業を行う。



No	作業内容	ゲートの記号	敷地境界		
			デジタル粉じん	空気環境測定	
1-0	作業開始				
1-1	養生シート施工				
1-2	剥離剤塗布				
1-3	24時間沈降				
1-4	スクレーパにより剥離				
1-5	ALCに固化剤散布				
1-6	特管物を養生シートと一緒に袋詰め				
1-7	除去完了				
備考	 出入口1  間仕切り1  出入口2  間仕切り2  送風機  サーキュレーター  集塵機		測定: 枠が実線は必ず実施 枠が点線は問題があれば 黒星: 集じん排気装置排気口 赤星: 敷地境界 青星: 作業場内		
	※出入口は前垂れを設置				



- ① 目地部分の塗布箇所下部の飛散養生をホリントで行います。
- ② ALC板目地部分に、剥離剤を塗布します。
- ③ 目地部分の塗膜をスクレーパー等で除去します。(※24時間浸透後)
- ④ 塗布箇所下部の飛散養生を撤去、袋詰めします。
- ⑤ ALC板固定金具を切断します。
- ⑥ ALC板をパール等で横にずらし、ナイロンスリングで玉掛けをします。
- ⑦ 足場上部に取付けた、ベビーホイスでALC版を吊り外します。
- ⑧ ベビーホイスで1階まで吊り下ろします。
- ⑨ 1階部分でALC版を2重梱包して、Lv3用産廃コンテナに廃棄します。

No	作業内容	ゲートの記号	敷地境界		
			デジタル粉じん	空気環境測定	
1-0・	作業開始				
1-1・	ALC板固定金具を切断				
1-2・	ALCをバール等で横にずらす				
1-3・	ナイロンスリングで玉掛け				
1-4・	ベビーホイストでALC板を吊り外す				
1-5・	ベビーホイストで1階まで吊り下す				
1-6・	1階部分でALC板を2重梱包				
1-7・	撤去完了				
備考	 出入口1  間仕切り1  出入口2  間仕切り2  送風機  サークュレーター  集塵機		測定: 枠が実線は必ず実施 枠が点線は問題があれば 黒星: 集じん排気装置排気口 赤星: 敷地境界 青星: 作業場内		
	※出入口は前垂れを設置				